

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	転移性ホルモン感受性前立腺癌患者の診断時背景因子と治療及び治療経過を観察するレジストリ試験
研究責任者 (所属科名)	泌尿器科 主任部長 三田耕司
本研究の目的・意義	前立腺癌 (prostate cancer : PC) は日本で 4 番目に頻度が高い男性悪性腫瘍であり転移を有するステージ IV の 5 年相対生存率は 63.7% である。近年、新規抗アンドロゲン剤の登場により転移性前立腺癌に対する治療におけるパラダイムシフトが起きており、患者に対する治療選択肢が増えた。そこで、個々の患者における適切な初期治療を選択するためには診断時背景因子の詳細を解析する必要がある。本研究では従来行われてきた古典的内分泌療法と新規内分泌療法を受けた患者の長期経過を比較検討し、治療効果に影響しうる臨床因子や初期治療選択にあたり有用な根拠を検索することを目的とする。
調査方法・調査期間	2011 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに安佐市民病院泌尿器科で転移性ホルモン感受性前立腺癌と診断・治療された方の情報を調査します。 調査期間は倫理委員会承認日から 2030 年 12 月 31 日までです。
該当資料・データ	★対象となる患者様 22011 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに安佐市民病院泌尿器科で転移性ホルモン感受性前立腺癌と診断・治療された方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録 (年齢、既往歴、疾患名等)、検査データ (病理診断報告書、血液生化学検査等)、治療内容等を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報情報は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
共同研究機関	広島大学大学院医歯薬保健学研究院腎泌尿器科学 国立病院機構呉医療センター泌尿器科 JA 広島総合病院泌尿器科

	県立広島病院泌尿器科 三次市立三次中央病院泌尿器科 国立病院機構東広島医療センター泌尿器科 JA 尾道総合病院泌尿器科 国立病院機構福山医療センター泌尿器科 中津第一病院 泌尿器科 松山赤十字病院 泌尿器科
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司 電話：082-815-5211（代表）
備考	